

社会福祉法人天竜厚生会 実践発表会

社会福祉法人 天竜厚生会

〒431-3492 静岡県浜松市天竜区渡ヶ島 217-3

助成事業の概要

【目的】

地域住民を対象に社会福祉法人が実践している事業の発表を行う事で、地域の福祉に対する理解を含め、高齢者・障がい者・障がい児・外国人等が住み慣れた地域で長く一緒に暮らせる地域づくりを推進する事を目的とする。

【時期】

令和 7 年 2 月 1 日、浜松アクトシティ中ホールにて実施。

【内容】

昨今、様々な要因により福祉業界の人手不足が深刻化している中で、今後も長期安定的に社会福祉法人の使命を果たしていくためにも、継続的な人材確保と職員の定着が必要不可欠である。そして、福祉業界で長く働いていただくためには、誰もが仕事と生活の調和がとれるよう、個々の状況・多様性に合わせた働き方ができる職場環境を実現していく事が重要である。職員一人ひとりが意欲を持って働き、豊かさを実感して暮らせる職場である事を、職員のご家族をはじめ、広く多くの皆様に知っていただく機会とし、当会の取り組みの一部を紹介する。

事業の成果

当日は下記プログラムの通り実施した。

テーマ：天竜厚生会の働き方改革

(1) 子育て世代における働き方改革～働き方の多様化と求められる法人制度～（総務課）

(2) 感性豊かで生きる力をそなえた子どもを育てるために

～保育者がいきいきと働ける職場を目指して～（子育て支援課）

(3) 多様な働き方と生活支援の実践（就労支援課）

(4) 見守り機器・ICT 機器活用による介護現場の“今”（特別養護老人ホームさやの家）

(5) デジタル機器活用による効率的な働き方
～ご利用者の自己実現に向けて～（しらいとケアサポートセンター）

今回は「天竜厚生会の働き方改革」というテーマで、当法人の取り組みと今後の展望について発表した。福祉分野関係者のみでなく、「行政」「教育」等の専門機関からも参加いただき、福祉分野で抱える課題を共有し助言をいただく事で相互に見識を広げ、今後の専門機関との連携強化につながる事で、誰もが働きやすい社会づくりの実現に繋がるものとなった。

有識者を来賓としてお招きし、また各分野から関心を持って一般聴講に訪れた多くの皆様に当法人（福祉現場）の取り組みや現状を伝えられた事、それに対するご意見や反応を得られた事は、広く地域の方々に福祉への関心を促す事に繋がったと感じている。

当日は、多くの方が聴講に訪れ、アンケートからは「法人単位で業務改善に取り組み、そうした取り組みを続けていくことが、人材確保と職員定着、ご利用者のサービス向上へ繋がっていく良いサイクルができていると参考になった。」といった回答もいただいている。当法人を幅広い方に

知って頂き、地域に対して社会福祉法人の取り組みを発信し、信用を高めるとともに地域住民に対する福祉の啓発ができたものと感じた。

またコロナ禍で希薄になりつつあった地域住民や自治会等との繋がりや、法人職員意識改革に繋がった事など、多くの成果を得られた。

■ 成果の広報・公表

天竜厚生会ホームページ上で実施報告を掲載する。また、当法人の広報誌「機関誌あかまつ」上でも記事を掲載し、地域関係者をはじめ多くの方にお配りする事で、広く一般の方に成果を知っていただく広報の機会を整える。

■ 今後の展開

今回の発表では、「天竜厚生会の働き方改革」というテーマで、天竜厚生会で現在取り組んでいる活動の実践と今後の展望について発表した。従来の福祉分野関係者のみでなく、「行政」「教育」等の専門機関から有識者を招き、法人の取り組みを知っていただくのと同時に、福祉分野の抱える課題を共有し助言をいただく事で相互に見識を広げ、今後の専門機関との連携強化につなげる事で、誰もが働きやすい社会を実現するための一助となる事を狙いとした。

当日は、多くの方が聴講に訪れ、当法人を幅広い方に知って頂き、地域に対して社会福祉法人の取り組みを発信し、信用を高めるとともに地域住民に対する福祉の啓発ができたものと感じた。

今後も実践発表会を通じて社会の関心が高いテーマと福祉現場の課題の結びつきを取り上げ発表していく事で、社会福祉法人と地域との繋がりをより強固なものにし、更なる福祉の啓発に繋がられる事を示していきたい。